

平成28年9月1日

各位

会社名 株式会社フード・プラネット
代表者名 代表取締役社長 アンドリュー・ネイサン
(コード:7853 東証第二部)
問合せ先 取締役 カトリーナ・ビニヤスカ
(TEL. 03-4577-8701)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社株式は、平成28年8月において月末時価総額が10億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成28年8月の月末時価総額が10億円未満となりました。東京証券取引所有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文では、9ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を3ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては、3ヶ月）以内に、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

(ご参考)

- ①平成28年8月の月間平均時価総額 1,097,078,232円
- ②平成28年8月の月末時価総額 982,267,720円
(8月31日終値14円 × 8月31日上場株式数 70,161,980株)

2. 今後の見通し

当社は、継続的に営業損失を計上した結果、平成28年9月期第3四半期において、債務超過に陥っております。

これに伴い、これまでもお知らせしてきましたとおり、当社はフード事業の強化、拡大による業務改善に取り組む一方、資金調達については、平成28年6月28日付「第三者割当による第8回新株予約権の発行に関するお知らせ」で開示しております通り、新株予約権を発行し、うち払込完了日当日（平成28年7月14日）に10%の行使が確約されていたことから、払込金と行使金額を合わせ、322百万円を調達いたしました。当社としましては、引き続き当該新株予約権の行使による調達を目指してきましたが、現行の株価水準においては行使の見込みを立てるのが難しく、さらなる資金の手当てを含む、補完的な資金の確保のため、資金調達の交渉を行ってまいりましたが、平成28年9月期第3四半期の四半期報告書提出期限までにその確定に至っていなかったために、平成28年8月15日付「平成28年9月期第3四半期「四半期レビュー報告書」結論の不表明に関するお知らせ」及び平成28年8月22日付「(補足)平成28年9月期第3四半期「四半期レビュー報告書」結論の不表明に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、当社は平成28年9月期第3四半期に係る四半期報告書を提出するに当たり、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく四半期レビューについて、東京第一監査法人より結論を表明しない旨の四半期レビュー報告書を受領してまいりました。

今後の取り組みといたしまして、資金調達につきましては鋭意交渉中であり、完了には至っておりません。現在も事業の再構築なども視野に引き続き交渉を行っており、具体的な資金計画が作成でき次第、開示させていただきます。また新株予約権行使による資金の確保も引き続き注力して参るとともに、その資金の使途については適切に配分の上、事業活動において収益を確保できる体制に転換できるよう努めてまいります。

なお、今後平成28年11月末までの間に、東京証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善、その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出し、開示する予定であります。

株主様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますが、今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上